

《担当者名》 西郷 達雄 富家 直明 金澤 潤一郎 福田 実奈 齊藤 恵一 真島 理恵 西牧 可織 関口 真有 大村 一将(歯)
河原 純一郎(特別講師) 池田 宏(特別講師)

【概要】

今後の大学生活を充実したものにするために、大学での学習に必要な能力や健康の維持・管理、人間関係の形成に役立つ知識や社会的スキルを身につける。

【学修目標】

大学生活における目標を持ち、見通しとその計画を立てることができる。

健康な大学生活を送るためのライフマネジメント力を身につける。

大学での自分に適した学習方法を身につける。

コミュニケーション力を高め、広い交友関係を持つことができる。

クラス内での交流を活発化し、ピアサポートを強化する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	全体ガイダンス	臨床心理学科における教育内容の外観と履修方法の確認を行う。 *「令和4年度授業計画」およびノートパソコンを持参すること。	富家 直明 西郷 達雄
2	クラス別ガイダンス	クラス単位の交流を広げる。	福田 実奈 齊藤 恵一 真島 理恵 関口真有 西牧 可織 金澤潤一郎
3	健康的なキャンパスライフづくり	保健センターの利用方法について紹介する。 ワクチン接種について説明を行う。また、タバコの禁煙・防煙について学ぶ。	大村 一将
4	健康的なキャンパスライフづくり	本学心理科学研究科の大学院生との交流し、勉強の仕方など有意義な学生生活の過ごし方について学ぶ。	西郷 達雄
5	クラス別ガイダンス	クラス単位の交流を広げる。	福田 実奈 齊藤 恵一 真島 理恵 関口真有 西牧 可織 金澤潤一郎
6	アカデミックスキルズ	大学における学習方法について学ぶ。自分自身の学習スタイルおよび特性を把握する。スケジュールリングについて学ぶ。	金澤 潤一郎
7	アカデミックスキルズ	大学における学習方法について学ぶ。基本的なレポート作成からメールの作成方法について学ぶ。	金澤 潤一郎
8	アカデミックスキルズ	大学における学習方法について学ぶ。修学に必要な資料および文献の収集方法について学ぶ。	西郷 達雄
9	アカデミックスキルズ	大学における学習方法について学ぶ。著作権、引用、不正行為等における問題について学ぶ。	西郷 達雄
10	アカデミックスキルズ	大学における学習方法について学ぶ。レポートや論文作成のための論理的な考え方について学ぶ。	西郷 達雄
11	心の働きを捉える・科学する	大学における心理学の研究活動について紹介する。	福田 実奈
12	教育相談とこころ	思春期、青年期における教育に関わる相談に対しての支援、助言および指導のありかたについて学ぶ。	池田 宏
13	心の働きを捉える・科学する	日本の最先端の心理学研究に触れる。心の働きを捉えるための科学的なアプローチ法について学ぶ。研究テーマは「注意」と「魅力」。	河原 純一郎
14	心と身体の健康の維持増進	日本人の生活習慣とがん、およびメタボリックシンドロームの関連について学びを深める。行動科学的アプローチによる心身の健康の維持増進について考える。	西郷 達雄

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	心と身体の健康の維持増進	思春期・青年期における死因の第一位である自殺について学ぶ。大学生のメンタルヘルスを維持するための予防的アプローチとしてのセルフケアの知識を学ぶ。	西郷 達雄

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

最終レポート80%と 毎回の小レポート20%で総合的に評価を行う。また、最終レポートのフィードバックについては、ループリックの導入等により客観的な評価基準を設定する。

【教科書】

使用しない。適宜資料を配付する。

【参考書】

一古 みどり 編著 上岡 真紀子 著 保坂 睦 著 (2014) 資料検索入門 レポート・論文を書くために
 都筑 学 著 (2016) 大学1年生のための 伝わるレポートの書き方 (2016)
 慶應義塾大学教養センター 監 (2014) 慶應大学義塾大学日吉キャンパス学習相談員 著 学生による学生のためのダメレポート
 脱出法
 三浦佳世 (著), 河原純一郎 (著) 美しさと魅力の心理 (2019) ミネルヴァ書房
 河原 純一郎 (著), 横澤 一彦 (著) 注意: 選択と統合 (シリーズ統合的認知) (2015) 勁草書房

【備考】

各回ごとに指示された課題に従って、授業準備を行う。なお、心と体の健康に関するテーマの回は、厚生労働省のホームページに掲載されている生活習慣病予防の施策を参照し、予習 (30分~60分) および復習 (30分~60分) することが望ましい。

【学修の準備】

1年前期の必修講義でありながら同時期の開講期間に限定されることなく、卒業まで持続する人間関係集団の形成や、修学上のコツ、大学施設の使い方、人生の危機を乗り越えるポイントなど未永く役に立つ知識やスキルを獲得できる授業であるので、大切に出席して欲しい。

【その他】

本授業は心理学部臨床心理学科の研究協力者プールクレジットシステムに従って、様々な研究への参加・協力を最大5%の加点として評価する（詳細については初回講義にて説明する）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連】

本講義を通して、心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門知識を修得し、社会の変化や科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得するという心理学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

西郷 達雄（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床経験、研究活動、社会活動の成果を反映して実践的な教育内容を展開する。